

# 平成25年度一般会計予算修正可決

## 修正案により変更となった事業および予算額

事業名等	修正前	修正後	削減額
(仮称) 東久留米市子ども・子育て会議運営等事業	4,869	0	△4,869
認可外保育施設保護者助成金	8,352	0	△8,352
(仮称) 北部地域児童館新築工事に伴う基本・実施設計委託	19,300	0	△19,300
ごみ対策課庁舎建替に伴う基本・実施設計委託	10,540	0	△10,540
最終処分場等見学会経費	110	0	△110
商店街調査業務委託	872	0	△872
民間自転車等駐車場建設助成金	1,000	0	△1,000
私道整備助成事業	2,500	0	△2,500
市内公共交通調査分析事業	3,150	0	△3,150
学校図書館司書配置事業	8,651	5,000	△3,651
西中学校防球ネット設置工事	24,000	18,000	△6,000
南町運動広場防球ネット拡張工事	24,000	12,000	△12,000

単位：千円

※この他、第五小学校用地購入の市債発行を取りやめ、教育振興基金で対応することとした。

## 平成25年度一般会計予算に対する付帯決議の内容

- 平成25年度一般会計予算について、市長の財政認識に対する甘さを正し、持続可能な東久留米市の行財政運営を確立するため、以下の事項を求める。
- ①市長は、これまでの財政に対する認識を改め、市の財政が危機的状況であることを効果的な手段を用いて市民へ知らせること。
  - ②基礎的財政収支（プライマリーバランス）の堅持
  - ③臨時財政対策債に頼らない財政運営を極力目指すこと。
  - ④「東久留米市第4次行財政改革基本方針・行財政改革アクションプラン（改定版）」の早期ローリングを実施すること。
  - ⑤事業の民間委託計画に合わせて「東久留米市第4期定員管理計画」のローリングを図ること。
  - ⑥特別会計への法定外繰出金の抑制を目指すこと。
  - ⑦予算の執行に当たっては、最大限のコスト削減を目指すこと。
  - ⑧みなみ保育園引継保育業務委託については、見積額を精査すること。

## 平成25年度一般会計予算を約4億円減額し修正可決

平成25年度一般会計および4特別会計予算案は、予算特別委員会で4日間にわたって審査されました。3面上段では修正案の主な内容と、4・5面上段では歳出の主な質疑の内容をお知らせします。

また、3面～5面の下段では3月26日の本会議での各派の賛否討論・意見表明の要旨を掲載します。賛否結果は8面をご覧ください。

平成25年度一般会計予算案は、歳出を中心とした質疑を行いました。予算特別委員会の最終日の22日に委員より一般会計予算の組み替えを求める動議と修正案が提出されました。組み替えを求める動議は賛成多数で可決され、修正案は賛成多数で可決、修正案を除く原案も賛成多数で可決されました。

国民健康保険・下水道事業の2特別会計予算は賛成多数、後期高齢者医療・介護保険の2特別会計予算は賛成多数で可決されました。市債より提案された一般会計予算案の歳入歳出予算の総額は歳入歳出それぞれ390億6200万円であり、対前年度比は0.7%の増、起債見込額は29億1330万円、元金償還見込額は26億2500万6千円でした。修正案により歳入歳出予算総額はそれぞれ386億5124万千円、対前年度比は0.4%の減となり、起債見込額は25億3440万円で減少し、元金償還見込額を下回りプライマリーバランス（基礎的財政収支）を保つことができました。

※プライマリーバランス（基礎的財政収支）とは政策的な支出を新たな借金に頼らずに、その年度の税収等で賄われているかどうかを表す指標。

市では地方債償還元金（返済する元金）以上に新規の借入れを行わないことを目指している。



## 予算案に対する各派の意見表明・予算討論（要旨）

### 自民クラブ

### 馬場市長の予算案に賛成者は1名

平成25年度予算は財政規律を無視し、市長の政策的な経費を推進した過去最大の予算である。特に、編成方針で述べた規律を自ら破っている点は問題である。臨時財政対策債を限度額まで活用し、財政調整基金を約9億2千万円取り崩し、残高を約4億3千万円まで落ち込ませている。公有地売却収入約7億円を投入し、しかも、これらの臨時的収入を経常経費にも充当するという厳しい実態である。

このような中でも政策的な経費は計上され、中には今後経常的な経費となり、

財政を切迫させる原因となるものも多く含まれている。新規事業の中には市民参加も市民合意もまま進められようとしている事業もあり、質疑で市長の独断専行的要素が露呈されたものもあった。

予算を膨らませ今後の負担を増加させ、26年度の財源見通しについては具体的な対策は述べられていない。財政危機的認識が低く、財政規律を制御できない市長に代わり、議会が予算の修正を行うことを評価する。今後はさらに社会保障費等が増大し、財政を切迫させることが予想されるため、25年度の予算は真の選択と集中を行い、身の丈に合った予算編成をすべきである。市内公共交通調査分析事業は、目的と効果、過去の市長答弁との矛盾があることから削除すべき。

運動公園等の2カ所の防球ネット整備については防球の効果は維持しつつ必要最低限の予算へ削減。商店街調査業務委託については、目的や手法について不明瞭な点があり、時間をかけ再考を求める。学校図書館司書配置事業は必要性や教育の平等性から早期の全校対応が必要だが、財政事情を鑑み4校を先行して実施し、実績を踏まえ拡充を期待する。

(仮称) 北部地域児童館新築工事に伴う基本・実施設計委託は、公有地の利活用方法や諸課題の整理を求め削除する。

ごみ対策課庁舎建て替えに伴う基本設計委託は建て替えの財源の措置が確実に見込めるまで凍結し、最終処分場等見学会についてはごみの減量化に直結する施策とは言えず削除する。

商店街調査業務委託は実施時期、対象地域の再検討を求め削除する。

民間自転車等駐車場建設助成金は民間事業者の整備へ助成ができるよう条例改正を求め、事業者からの要請を受けた際の対応とし、私道整備事業は厳しい財政状況の中であり、凍結する。

認可外保育施設保護者助成金は、市長自ら子育て施策に關し一般財源の投入は難しいと述べているにもかかわらず、明確な財源根拠が示されていない。子育て世代への支援策充実のために財源を改めて示すべき。

行財政改革を推進するため、危機的な財政状況であることを広く市民に宣言し、危機認識を共有することを求め、一般会計予算修正案に賛成する。

なお、国民健康保険特別会計予算案については一般会計からの繰り入れを改善すべく抜本的な改正を求め、後期高齢者医療・介護保険・下水道事業特別会計予算案には特に意見を付すことなく賛成する。

市内公共交通調査分析委託は今後の方向性の整理を求め削除。

### 公明党

### 財政規律を無視した政治姿勢を正す！

平成25年度予算は貯金を切り崩し、資産を売り払い、それでもなお足りず借金して市民サービスを行うという事態となっており、プライマリーバランス（基礎的財政収支）を大きく崩し、借入額が償還額を約2億8千万円上回る予算となった。

しかも財政調整基金のうち60%の5億8千万円が次年度も必要となる経常経費に充てられている。

市長は今年度の施政方針の中で「選択と集中の視点で行政資源の配分を見直し、いかなければ今後持続可能な自治体であることは困難であると考えている」と

述べているが、同じ人物が提出した予算とは思えない。今回の予算のどこに「選択と集中」があったのか。反省すべきは反省すること

いう言葉を繰り返し何も変わらない市長の政治姿勢が如実に25年度予算案に表れている。議会が市の将来に對して、市長よりも責任を持つとの重い覚悟で予算修正案を提出する。

わが市の非常に厳しい財政状況の中、本日に市民生活を守るため、急を要しない事業は削減または凍結し、プライマリーバランスを堅持する姿勢が必要である。

修正案の具体的な内容としては、(仮称) 東久留米市子ども・子育て会議運営等事業は条例提案と同時に対応を求め、財源の裏付けのない認可外保育施設保護者助

成金は保育料の改定と同時に実施すべきと申し添え削除。(仮称) 北部地域児童館新築工事に伴う基本・実施設計委託は、公有地の利活用方法や諸課題の整理を求め削除する。

ごみ対策課庁舎建て替えに伴う基本設計委託は建て替えの財源の措置が確実に見込めるまで凍結し、最終処分場等見学会についてはごみの減量化に直結する施策とは言えず削除する。

商店街調査業務委託は実施時期、対象地域の再検討を求め削除する。

4面下に続く

